



人文学部 人間文化学科 准教授

やまね す み か
山根純佳

人間の多様な文化と社会の仕組みを専門的に学ぶ。

山形大学 人文学部

安心してケアできる社会に向けて ケアの社会化とジェンダー公正

「労働」としてケアをとらえる

研究テーマは、ケア労働とジェンダーです。人間は、産まれるとき、子どものとき、病気になったとき、年をとったとき、誰かに依存しなければなりません。「依存」する人を支える育児や介護を「ケア」と呼びます。これまでケアは、家庭で主に女性だけが担うことが当然とされてきました。しかしケアは楽しいものであると同時に、身体的、精神的な負担の大きい「労働」でもあります。ケア労働をする人を支え、ケアを社会全体で担うことが、子どもや高齢者などケアを受ける側の幸せに結びつくと考えています。

震災後の子育て支援

子どもや高齢者は災害時においても、災害弱者となります。東日本大震災の原発事故による放射能汚染は、小さな子どもとその家族に大きな影響を与えています。事故後、福島から山形に避難してきた親子の現状を明らかにするために、地域のNPOと共同で避難世帯を対象にアンケート調査や聞き取り調査をおこないました。その結果、母と子のみでの避難生活のなかで孤立を感じていたり、親子ともに精神的、身体的不調を感じている方が多いことが明らかになりました。地域社会でケアを支えることで、ケア労働する人の孤独や負担を軽減する必要性をあらためて感じています。



避難者へのアンケート調査報告書



聞き取り調査に欠かせないICレコーダー



翻訳した書籍



日本、各国のケアに関する研究の書籍